

## 4 死亡の状況

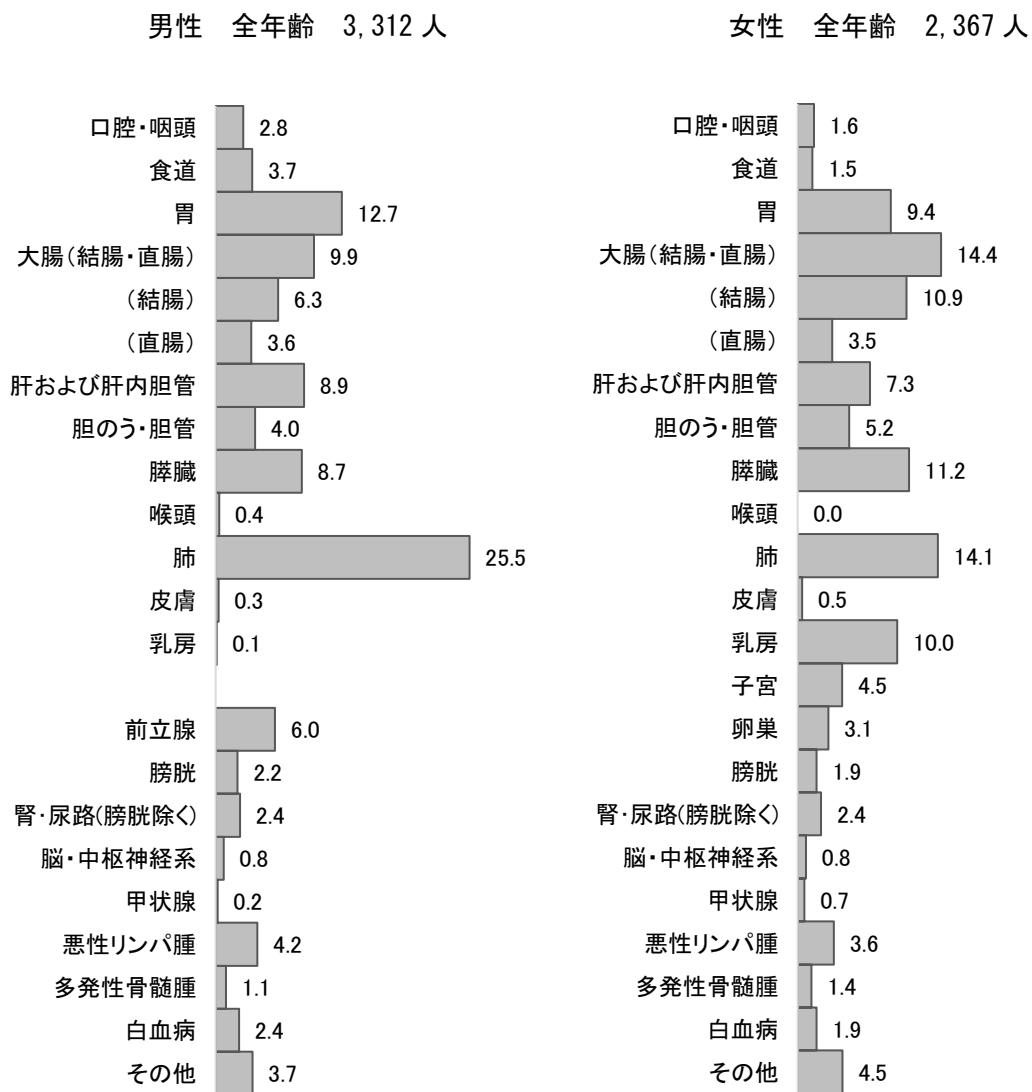
### (1) 死亡の概要

岡山県において、がんを原因として死亡した者の数は、男性 3,312 人、女性 2,367 人、合計 5,679 人であった。

部位別では、男性は肺（845 人、25.5%（全部位に占める割合、以下同じ））が最も多く、次いで胃（420 人、12.7%）、大腸（327 人、9.9%）の順となっている。また、女性では大腸（341 人、14.4%）が最も多く、次いで、肺（334 人、14.1%）、膵臓（265 人、11.2%）、乳房（237 人、10.0%）の順となっている。

【図 17】

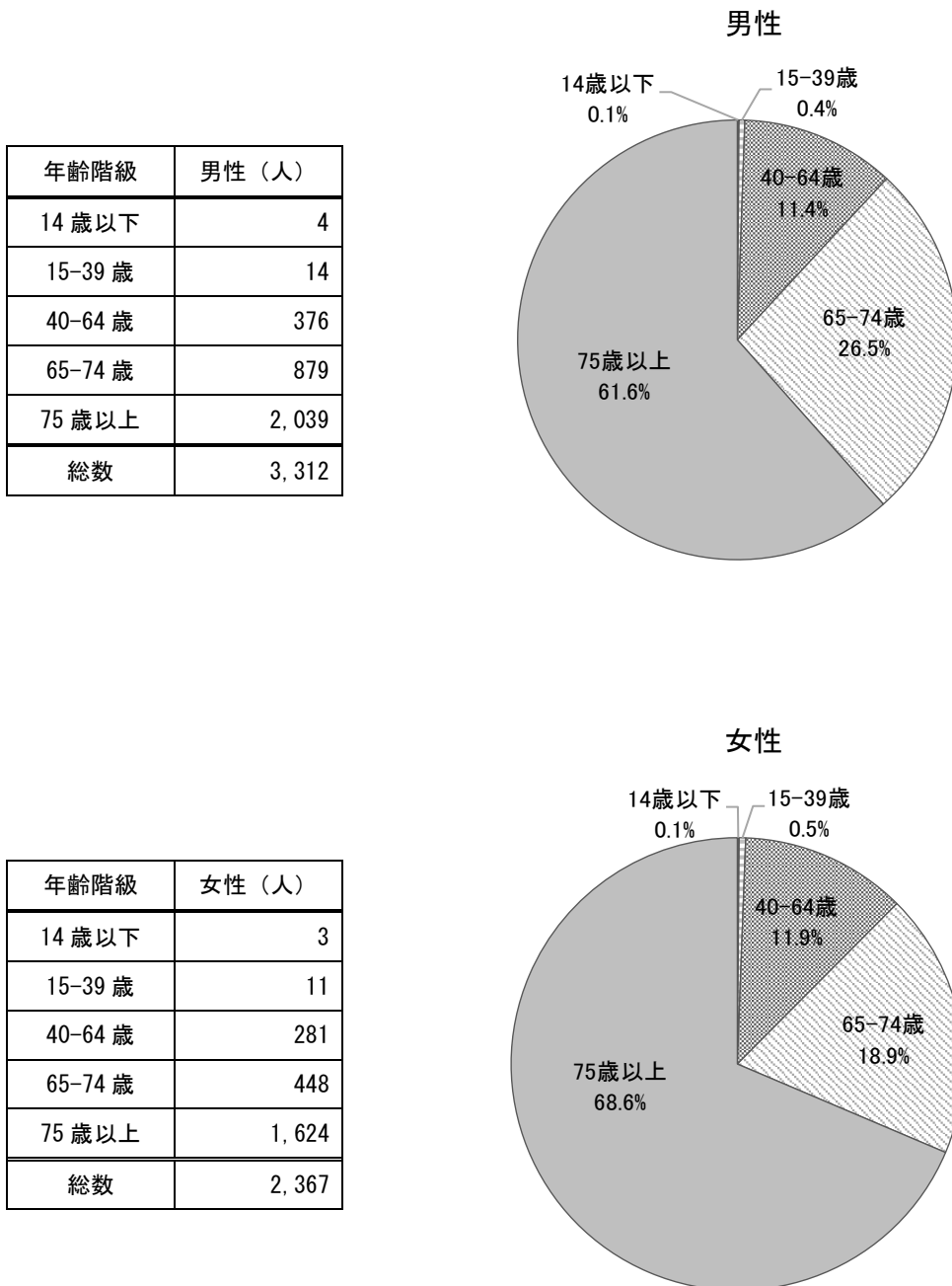
図 17 部位内訳（%）（表 9 から作成）



## (2) 年齢別に見たがんの死亡

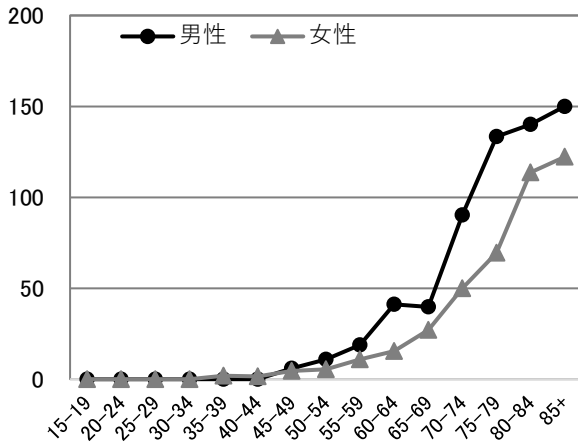
がんによる死亡について年齢階級別内訳をみると、男性では全体の約 88.1%、女性では全体の約 87.5%が 65 歳以上である。【図 18】

図 18 年齢階級別内訳 (%) (表 10 から作成)

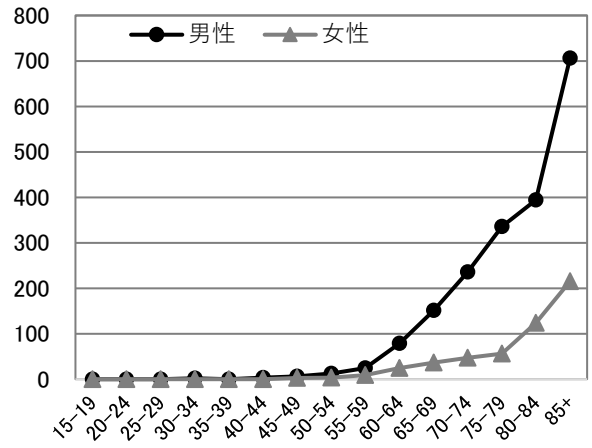




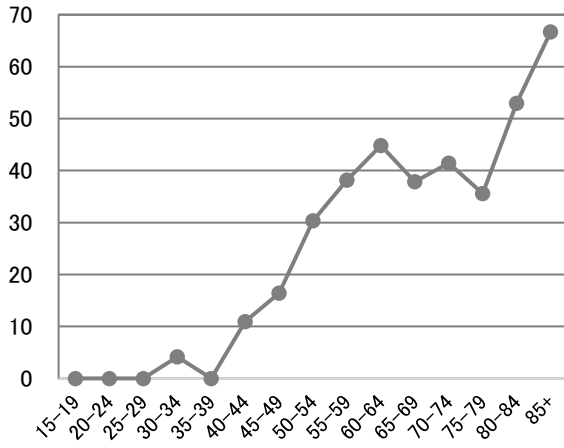
膵臓



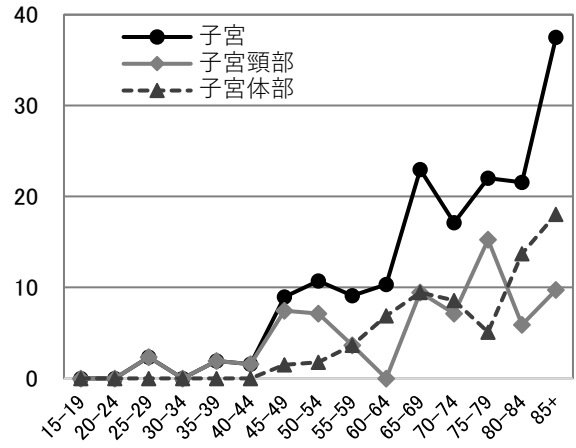
肺



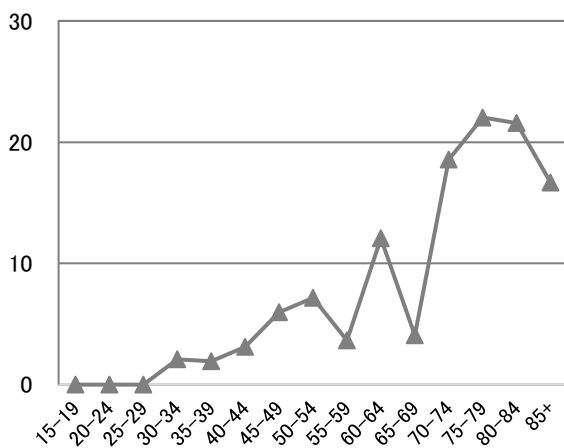
乳房 (女性のみ)



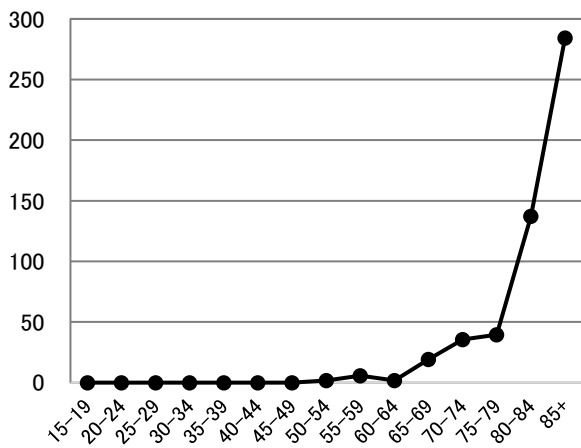
子宮



卵巣



前立腺



### (3) 岡山県のがんの死亡の特徴

部位別の粗死亡率と年齢調整死亡率について、厚生労働省の「人口動態統計」による全国値との比較を示した。

年齢調整死亡率で見ると、多くの部位において岡山県は全国値を下回っている。

【図 20・21】

図 20 部位別粗死亡率：人口 10 万対（表 9、人口動態統計から作成）

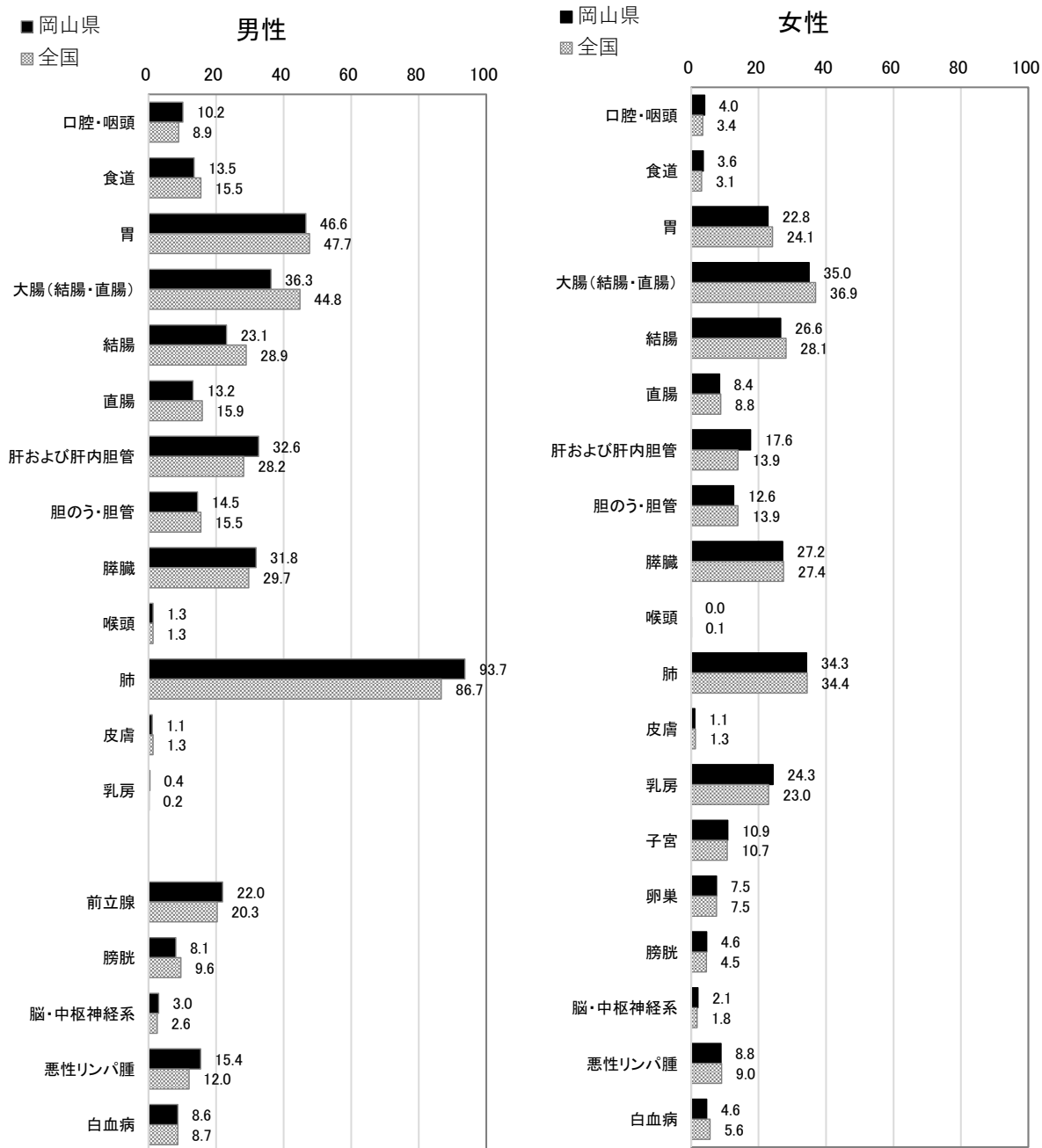


図 21 部位別年齢調整死亡率：人口 10 万対（表 9、人口動態統計から作成）

